

市町村	大目標	種類	目標(指標)	現状	目標値 資料等
秋田	生活習慣の改善と歯質の強化で、子供のむし歯を予防しよう	成人	喫煙が歯周病に及ぼす影響についての知識をもっている人の増加 20歳以上	26.4%	平成13年度旭川計画アンケート調査 40%以上
		幼児	むし歯のない幼児の増加 3歳児	67.70%	80%以上 平成12年度旭川市乳幼児健診
		幼児	3歳までにフッ素塗布を3回以上受ける幼児の増加 3歳児	45.60%	50%以上 平成12年度旭川市乳幼児健診
		幼児	間食として甘味食品、飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ幼児の減少	42.0% (厳密には1日3回以上間食をとる幼児の割合)	38%以下 平成12年度旭川市乳幼児健診
秋田	むし歯予防や歯周病予防につとめ、生涯にわたって自分の歯を20本以上保つことをめざしましょう	学童	12歳児(小6生)の一人平均むし歯数の減少(旭川市:乳歯と永久歯)(国と道:永久歯のみ)	3.33歯 処置済 2.28 未処置 1.00 喪失 0.05	1.7歳以下 平成12年度旭川市学校保健統計
		学童	フッ素配合歯磨き剤を使用する学童の増加	54.0%	平成12年上川保健所調査:旭川市内における小学校
秋田	秋田市の今後の取り組み		<p>幼児歯科健診や、定期歯科検診をさらにPRしていきませます</p> <p>正しい歯磨き習慣が身につくよう、健康教育を充実させます</p> <p>歯科健診を受診し、歯周病を予防できるよう、普及・啓発につとめます</p> <p>3歳児健診におけるむし歯のない人の割合</p> <p>12歳児のDMF指数</p> <p>自分の歯を20歳以上有する人の割合 65歳以上</p> <p>健診や治療で歯科受診している人の割合 13~15歳</p> <p>歯間部清掃器具(歯間ブラシ、デンタルフロス等)を使用している人の割合 16歳以上</p> <p>歯や口の中に痛みがありながら、治療していない人の割合 16歳以上</p> <p>定期的に歯科健診を受けている人の割合</p> <p>歯科医で定期的に歯石を取っている人の割合</p>	<p>56.7%</p> <p>3.27本</p> <p>30.9%</p> <p>51.4%</p> <p>29.5%</p> <p>32.7%</p> <p>48.9%</p> <p>10.9%</p>	<p>75%以上</p> <p>1.7以下</p> <p>35%</p> <p>75%以上</p> <p>50%以上</p> <p>0%</p> <p>60%以上</p> <p>30%以上</p>

福島 郡山市
見直そう「歯」生活
いつまでもおいしく食べられる自分の歯
を保ちましょう

種類	目録(指標)	現状	目標値	資料等
乳幼児期(0～2歳)	歯ブラシになれ始めることから始めましょう			
乳幼児期(0～2歳)	甘い物はなるべく控えましょう			
乳幼児期(2歳～)	自分で磨く子が増えてきますが、仕上げ磨きは必要です			
乳幼児期	虫歯のない1歳6か月児の割合	94.0%		
乳幼児期	虫歯のない3歳児の割合	57.0%		
学童期(0～12歳)	一生使う永久歯を自分で守るために1本1本でいいにみがく歯みがき習慣を身につけましょう			
学童期(0～12歳)	「みがけたよ」、「本当かな?」家族の方、ときには口の中をのぞいてみましょう			
成年期(20～39歳)	「あれ??」と思ったときに気軽に歯医者にいきませんか?			
成年期(20～39歳)	かかりつけの歯科医がいる 20～39歳	50.0%		
成年期(20～39歳)	定期的に歯科健(検)診を受けている 20～39歳	16.0%		
壮年期(40～64歳)	働き盛りは、歯周病ばかり			
壮年期(40～64歳)	予防は歯磨きと定期健(検)診から			
高齢期(65歳～)	残そう噛める歯、元気な歯! ポイントはよく「噛む」こと、「磨く」こと			

福島	いわき市	むし歯をつくらないようにしましょう	現状	目標値	資料等
乳幼児期(0～就学前)	むし歯がある3歳児の割合		37.8%	13.0%	
乳幼児期	3歳児の一人平均むし歯数			0.64本	
乳幼児期	夕食後から寝るまでの間におやつを食べる子供の割合		47.6%	28.0%	1.92本
乳幼児期	間食を1日3回以上もしくは回数を決めないで与える家庭の割合		16.5%	10.0%	
乳幼児期	ジュースやスポーツ飲料を週3・4回以上もしくは子供が欲しがったときに飲ませる家庭の割合		75.3%	50.0%	
乳幼児期	ジュースやスポーツ飲料を1歳半以前に飲ませ始める家庭の割合		61.2%	20.0%	
乳幼児期	年1回歯科検診を受ける子供の割合		66.1%	81.0%	
乳幼児期	歯の仕上げ磨きをやる親の割合		45.6%	75.0%	
乳幼児期	歯の仕上げ磨きを1歳半以前に開始する親の割合		45.3%	75.0%	

現状：2001年
目標値：2011年度

市町村	大目標	種類	目標(指標)	現状	目標値 資料等
宇都宮市	むし歯をつくらないようにしましょう	学童期(小・中学生)	小学生のむし歯有病者率	86.7%	79.0%
		学童期	中学生のむし歯有病者率	83.8%	80.0%
		学童期	中学生(12歳)の一人平均むし歯数	3.3本	2.0本
		学童期	甘味飲料(ジュース・缶コーヒー・スポーツ飲料等)を週3~4回以上飲む小中学生の割合	53.9%	38.0%
		学童期	学校の歯科健診以外に、むし歯予防の目的で年2回以上歯科医院に行く小中学生の割合	21.5%	50.0%
		青年期(16歳~29歳)	高校生のむし歯有病者率	91.5%	85.0%
		青年期	歯や歯ぐきに症状がある人の割合	43.9%	25.0%
		青年期	甘味飲料(ジュース・缶コーヒー・スポーツ飲料等)を週3~4回以上飲む人の割合	58.0%	38.0%
		青年期	歯間ブラシまたはデンタルフロス(糸ようじ)をよく使う人の割合	6.3%	25.0%
		壮年期(30歳~40歳)	歯や歯ぐきに症状がある人の割合		
		壮年期	甘味飲料(ジュース・缶コーヒー・スポーツ飲料等)を週3~4回以上飲む人の割合	35.0%	29.0%
		壮年期	歯間ブラシまたはデンタルフロス(糸ようじ)をよく使う人の割合	22.5%	50.0%
		高齢期(65歳~)	間食を1日2回以上する人の割合	40.8%	36.0%
		栃木	むし歯をつくらないようにしましょう	幼児期	むし歯のない幼児の増加 3歳児
幼児期	フッ素塗布を受ける幼児の増加			49.2%	60.0%以上
学童期	12歳児の一人平均むし歯の減少			2.6本	1.8本以下
壮年期	60歳で24本以上自分の歯がある人の増加			52.1%	増やす
高齢期	80歳で20本以上自分の歯がある人の増加			22.9%	増やす
成人	4mm以上の歯周ポケットのある人の減少 40歳			52.0%	35.0%以下
成人	4mm以上の歯周ポケットのある人の減少 50歳			63.9%	52.0%以下
成人	定期的に歯科健診を受ける人の増加			16.0%	34.0%

市町村	大目標	種類	目標(指標)	現状	目標値資料等
神奈川県 相模原市	歯の健康		歯科保健についての適切な情報の提供		
			う蝕予防対策		
			フッ化物利用推進対策		
			歯肉炎発症予防対策 児童の生活習慣病予防対策		
神奈川県 新潟市	健康な白い歯の子どもをふやしましょう 小児のむし歯を減らすために、予防を推進します	幼児期(0~4歳)	生活習慣の基礎づくり対策：う蝕予防対策		
		少年期(5~14歳)	自ら考え行動する生活習慣病対策：フッ化物利用推進対策		
		青年期(15~24歳)	健康づくりのための適切な情報提供：歯肉炎発症予防対策		
			むし歯のある幼児の減少 3歳児	29.7%	25%以下 平成13年度新潟市歯科保健年報
新潟市	健康な白い歯の子どもをふやしましょう 小児のむし歯を減らすために、予防を推進します		多発重症化しやすい幼児のむし歯の減少 1歳6ヶ月児	3.1%	2%以下 平成13年度新潟市歯科保健年報
			永久歯のむし歯を持つ児童の減少 小学校1年生	5.0%	3%以下 平成13年度新潟市歯科保健年報
			児童の平均むし歯本数の減少 中学校1年生	1.72本	1.5本以下 平成13年度新潟市歯科保健年報
			定期的にフッ素塗布する幼児の増加 3歳児健診時の実施率	66.0%	70%以上
			フッ素入歯磨剤を使用する児童の増加	60.9%	75%以上
			フッ素洗口を実施している児童の増加 4~5歳児	7.9%	13%以上
			フッ素洗口を実施している児童の増加 6~14歳児	10.2%	15%以上
			甘味食品・飲料を上手にとりましょう 歯の手入れの仕方をきちんと学び、正しい方法で歯磨きをしましょう フッ素入り歯磨剤やフッ素塗布およびフッ素洗口を利用しましょう		
			歯や口に自信を持つ人の増加 40歳代	35.6%	40%以上
			歯や口に自信を持つ人の増加 50歳代	29.5%	40%以上
			歯間部を清掃する人の増加 中学校1年生	6.4%	30%以上
			歯間部を清掃する人の増加 40歳代	18.9%	40%以上
	歯間部を清掃する人の増加 50歳代	35.0%	40%以上		
	定期的に歯科健診を受診する人の増加 40歳代	6.1%	20%以上		
	歯や口に自信を持ち、65歳以上まで自分の歯を20本以上保ちましょう 成人の歯周疾患を減らすために、予防を推進します				

市町村	大目標	種類	目標 (指標)	現状	目標値 資料等
石川	金沢市		定期的に歯科健診を受診する人の増加 50歳代 糸つきようじ(デンタルフロス)や歯間ブラシを使 いましょう かかりつけの歯科医で定期的に歯科健診を受けま しょう フッ素入り歯磨剤を利用しましょう 喫煙の歯周疾患への悪影響を知り、禁煙にチャレン ジしましょう	8.9%	20%以上
			3歳児のむし歯罹患率 80歳で20歯以上自分の歯が残っている者の割合	42.8%	30%以下
		乳幼児期(就学 前まで)	歯磨きの習慣を身につけさせる	-	-
		学童期(小学 生)	フッ素入り歯磨剤で食後の歯磨きをする		
		思春期(中高 生)	自分の歯と歯ぐきの健康状態に関心を持つ		
		青年期(18~ 39歳)	定期的に歯石除去、歯面清掃を受ける		
		壮年期(40~ 64歳)	フロスや歯間ブラシを使用した歯磨きをする		
		前期高年期(6 5~74歳)	よく噛んで食べることでできる歯を大切にす る		
		後期高年期(7 5歳以上)	口腔内を清潔に保つ		
	健康な歯と歯ぐきを保ち、いつまでも自 分のおいしく食べる	市民	歯の重要性を理解する 食習慣、歯磨き習慣及び定期検診等がむし歯や歯周 疾患予防に大切であることを理解する 乳幼児期から家族ぐるみで8020運動の達成をめ ざす 学童・生徒は、食卓や間食についての正しい知識と 歯磨き法を身につける フッ化物を積極的に利用する		

市町村	大目録	種類	目標(指標)	現状	目標値	資料等		
長野	長野市	行政	歯の健康づくりのための指導活動や情報提供を実施する					
			歯科検診、歯科保健指導等を受けやすい環境づくりに努める					
			幼児期・学童期における歯と口腔の健康の基盤づくりを行う					
			職域・地域等の中で若壮年者の歯周病予防対策を推進する					
			高齢者の口腔機能の維持・改善の重要性と身体との関係を指導し、口腔衛生対策を強化する					
			3歳児のむし歯のない子の割合を高める			69.8%	85%	
			歯科医師や歯科衛生士から歯のみがき方指導を受けたことのある人の増加	小学生		66.7%	増加	
			歯科医師や歯科衛生士から歯のみがき方指導を受けたことのある人の増加	中学生		47.5%	増加	
			歯周疾患の原因・予防法等を知っている人の増加	20-30歳代		51.0%	増加	
			過去1年間に歯科健診・指導等を受けている人の増加			46.1%	50%	
			6歳・12歳の永久歯の一人当たりむし歯保有数を減少させる	6歳			減少	
			6歳・12歳の永久歯の一人当たりむし歯保有数を減少させる	12歳			減少	
			しっかりと噛んで食べることができる子の割合を高める	小学生		2.8%	増加	
			しっかりと噛んで食べることができる子の割合を高める	中学生		5.0%	増加	
しっかりと噛んで食べることができる子の割合を高める	高校生		2.4%	増加				
歯周疾患の原因・予防法等を知っている人の割合を高める				増加	今迄調査			
過去1年間に歯科健診・指導等を受けている人の割合を高める			46.1%	50%				
岐阜	岐阜市	永久歯の損失防止	食事をおいしく食べている人の増加		88.6%	100% 健康基礎調査		
			3歳児のむし歯罹患率の低下		18.6%	12% 平成12年度 3歳児健康診査		
			小学1年生歯科検診時の第一大臼歯う蝕罹患率の低下		9.8%	0% 平成13年度 歯科医師会		
			小学6年生歯科検診時歯健全(未処置歯0、むし歯0、処置歯0)者の増加		50.8%	65% 平成13年度 歯科医師会		

市町村	大目録	種類	目標(指標)	現状	目標値資料等	
愛知	豊田市	成人	40歳前歯科健康診査で歯周炎にかかっている人の減少	40.5%	30% 平成13年度	
			60歳前歯科健康診査で自分の歯が24本以上ある人の増加	74.5%	80% 平成13年度	
		幼児	歯の健康に関する知識がある人の増加	66.0%	100% 要調査	
			3歳児のフッ化物塗布経験者の増加		80% 平成12年度3歳児健康診査	
				かかりつけ歯科医を持つ人の増加		増加要調査
				めざそう！802011(80歳で20本以上の歯を残しましょう)		
				かかりつけ歯科医をもちましょう		
				歯磨きを1日2回以上しましょう		
				歯みがきの習慣をつけましょう		
				むし歯を予防しましょう		
		歯周病が進行する時期です 歯周病は自覚症状が出にくいので、定期的に歯の健康チェックを受けましょう				
		よくかんで食べられる歯を保ちましょう				

市町村	大目録	種類	目標(指標)	現状	目標値	資料等
大阪 堺市	口のかなか、歯でも手軽にセルフケア！ むし歯予防 歯周病予防	幼児	むし歯のない幼児の割合の増加(3歳)	60.4%	80%以上	
		学童	1人平均むし歯の数の減少(12歳)	1.99歯	1歯以下	
		成人	進行した歯周炎保有率の減少 40歳	44.4%	33%以下	
		成人	進行した歯周炎保有率の減少 50歳	42.8%	33%以下	
		8020	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加(75-84歳)	20.8%	30%以上	
		8020	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加(55-64歳)	51.6%	60%以上	
		幼児	間食として甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の割合の減少 1歳6ヵ月児	29.6%	20%以下	
		幼児	間食として甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の割合の減少 3歳児	20.0%	10%以下	
		幼児	フッ素塗布を受けたことのある幼児の割合の増加 3歳	32.1%	50%以下	
		幼児	フッ素入り歯磨き剤を使用している者の割合の増加 3歳	36.8%	50%以上	
		学童	フッ素入り歯磨き剤を使用している者の割合の増加 学童	調査予定	90%以上	
		成人	定期的に個別の歯口清掃指導を受ける者の割合の増加(15-24歳)	調査予定	30%以上	
		成人	定期的に歯間部清掃器具を使用する者の割合の増加 40歳(35-44歳)	41.9%	60%以上	
		成人	定期的に歯間部清掃器具を使用する者の割合の増加 50歳(45-54歳)	44.3%	60%以上	
		成人	定期的に歯石除去や歯面清掃を受ける者の割合の増加 60歳(55-64歳)	55.9%	65%以上	
		成人	定期的に歯科検診を受診する者の割合の増加 60歳(55-65歳)	63.3%	75%以上	

大阪 東大阪市

歯の健康チェック！歯を長持ちさせ、
長く楽しい食生活を
私の健康づくり

みんなでサポート

歯の健康保持に必要な知識をみにつける

歯科健診・保健指導を定期的に受ける

歯の健康保持に関する啓発に努めます

幼児期・学齢期のむし歯予防の充実を図ります

成人期の歯周病予防の充実を図ります

かかりつけ歯科医の定着をはかりましょう

「8020」運動をすすめます

保健センター等での健診や健康相談を受け、歯も含

めた仮定での良好な生活習慣を確立し、健康保持に

役立てる

乳幼児期(0歳
~就学前)

種類	目標 (指標)	現状	目録値 資料等
学童期 (小学生)	専門家の指導を受けて、効果的な歯の磨き方を習得する		
思春期 (中・高校生)	生活習慣が乱れて、むし歯や歯肉炎の発症に至らないよう専門家の指導を受けて歯と歯ぐきの健康管理の方法を身につける		
青年期 (18～29歳)	健康的な生活習慣を形成する		
青年期 (18～29歳)	かかりつけ歯科医を持ち、子どもや大人自身の歯科疾患の予防に努める		
青年期 (18～29歳)	喫煙が歯周病にも影響を及ぼすことを知る		
壮年期 (30～64歳)	かかりつけ歯科医を活用して、むし歯の再発や歯周病の予防・進行防止に努める		
高齢期 (65歳～)	かかりつけ歯科医を活用して、口の中を清潔に保ち、歯の喪失を防止し、併せて喪失感を持ち、食欲向上に役立てる		
高齢期 (65歳～)	すでに自分の歯の数が少なくなっている方は、かかりつけ歯科医により、入れ歯等で補って、可能な限り噛む力を回復する		
兵庫県 姫路市	時間を決めておやつを食べている子どもの割合	46.2%	80%以上
	3歳児健診時のむし歯有病者率	31.0%	20%以下
	幼児歯科保健フォロー態勢の確立		増加
	かかりつけ歯科医を持つ人の割合	2001年調査予定	25%以下
	進化した歯周疾患の割合 40歳代	2001年調査予定	35%以下
	進化した歯周疾患の割合 50歳代	2001年調査予定	80%以上
	1日2回以上歯を磨く人の割合	63.0%	
	妊婦歯科検診の充実		
	歯周疾患検診の実施		

市町村	大目標	種類	目標(指標)	現状	目標値	資料等
兵庫	市町村					
西宮市			80歳における20本以上自分の歯をもつ人の増加	11.5%	20%	
			専門家による歯みがき指導を受ける人の増加	33%	43%	
			3歳児における虫歯のない児の増加	77.2%	80%	
			年1回以上の歯の検診を受ける人の増加	27.7%	36%	
			かかりつけの歯科医院等で、1年に一度は歯やはぐさの健康チェックを受けよう			
			しっかりと噛んで、歯の健康づくりを心がけよう			
			子どもの頃から歯を清潔にする週間をつけよう			
奈良	奈良市	歯科保健				
岡山	岡山市	歯の健康について心がけている人の増加				
			年1回以上歯磨きの指導を受けている人の割合	6%	12%	市民アンケート調査
			年1回以上歯科検診を受けている人の割合	19%	30%	市民アンケート調査
			年1回以上歯石除去を受けている人の割合	16%	30%	市民アンケート調査
			歯間ブラシ、糸ようじ、デンタルフロス等を使用している人の割合	25%	50%	市民アンケート調査
			フッ素入り歯磨き剤を使用している人の割合	30%	45%	市民アンケート調査
			フッ素入り歯磨き剤を使用している幼児の割合 児：3歳	61%	増加	三歳児健康診査
			フッ素入り歯磨き剤を使用している児童、生徒の割合 児童：小学生	なし	90%	
			フッ素入り歯磨き剤を使用している児童、生徒の割合 生徒：中学生	なし	90%	
			甘味食品、飲料は1日2回以上とらないようにしている人の割合	7%	13%	市民アンケート調査
			ガムやあめは、シュガーレスのものを買うようにしている人の割合	14%	21%	市民アンケート調査
		むし歯のない乳歯を持つている児の増加				
			むし歯のない幼児の割合 3歳	68%	80%	三歳児健康診査
			フッ素塗布を受けている幼児の割合 3歳	42%	50%	三歳児健康診査
			1日あたり3回以上の間食をする幼児の割合 3歳	24%	減少	三歳児健康診査
		むし歯のない永久歯を持つている人の増加				
			12歳児の一人平均むし歯数	1.35本	1本以下	学校保健概要
			フッ素洗口を実施している児童、生徒の割合小学生	4小学校	40校以上	
			フッ素洗口を実施している児童、生徒の割合中学生	40校以上	40校以上	
		歯周疾患のない人の増加				
			進行した歯周炎(歯周疾患の検査(CPI検査)で4mm以上の深い歯周ポケットのあるもの)の減少 40歳	48%	22%	40歳歯周疾患検診
			歯周疾患のある児童、生徒の割合 児童：小学生	4%	減少	学校保健概要
			歯周疾患のある児童、生徒の割合 生徒：中学生	6%	減少	学校保健概要

市町村	大目標	種類	目標(指標)	現状	目標値 資料等
	80歳で自分の歯を20本以上保っている人の増加		60歳で自分の歯を24本以上保っている人の割合	51%	増加 市民アンケート調査
	みんなで協力してすること		職場の健康診断に歯科検診を加える 事業所と地域の歯科診療所等の施設が連携し、職場の近くで歯科検診や歯科治療を受けることができる体制をつくる 歯周疾患の治療が必要な児童、生徒の治療の徹底を図る たばこが歯周疾患に及ぼす影響について、情報提供を行う 5525運動を推進する 8020達成者の表彰を行う 職場に歯ブラシ、歯間ブラシを置き、歯磨きする 歯間ブラシやデンタルフロスを使い、1日1回は、丁寧に歯磨きをする たばこは吸わない 鏡で自分の歯ぐきを観察する 8020体験者は、子や孫だけでなく、地域の子どもや後輩に良い体験を伝える		
		一人ひとりができること			

市町村	大目録	種類	目標 (指標)	現状	目標値 資料等
広島 呉市	自分の歯でおいしく食べよう	自分の歯でおいしく食べよう	う歯のない幼児 3歳	65%	80%
			う歯のない小学生 6年生	55%	70%
			歯や口の状態についてほぼ満足している人	40%	60%
			ライフステージごとの健康づくり 幼年期 (0~5歳)		
			少年期 (6~14歳)		
			青年期 (15~24歳)		
			壮年期 (25~44歳)		
			中年期 (45~64歳)		
			高齢期 (65歳以上)		
		広島 福山市	乳幼児の歯と口の健やかな発達をうながします	乳幼児の歯と口の健やかな発達をうながします	乳幼児期 (出生から就学前)
	規則正しい歯みがき習慣を身につけるとともに、早期発見・早期治療を心がけ、むし歯にかかるとともに、乳幼児を減らします				
	よく噛んで食べる習慣を身につけ、顎の発達を促す食生活をすすめる人を増やします				
	むし歯の原因である、おやつとの与え方についての理解を深める保護者を増やします				
	自分の歯や口について関心を持つ児童・生徒を増やします				
	自分の歯にあっただ歯みがきの方法を身につける児童・生徒を増やします				
	間食とむし歯や歯周疾患などの関係について知っている児童・生徒を増やします				
	歯科検診 (早期発見・早期治療) をすすんで受ける児童・生徒を増やします				
	積極的に定期的な歯科検診を受け、自分の歯と口の状態を知っている人を増やします				
	喫煙が歯周病へ及ぼす影響について知っている人を増やします				
	歯周病が全身に及ぼす影響について知っている人を増やします				
	歯や口の機能低下を防ぐため、喪失予防に努める人				

市町村	大目録	種類	目標(指標)	現状	目標値資料等
山口	歯と口の機能の重要性を認識している人 を増やします	高齢期(65歳以上)	歯と口の健康が、心と体に及ぼす影響について知っている人を増やします		
			加齢に伴う歯や口の变化に、適切に対応できる人を増やします		
			歯や口の機能低下を防ぐため、喪失予防に努める人を増やします		
			介護が必要な人の歯と口の健康を向上させます		
			介護が必要な人の歯や口の健康が大きく関わっていることを知っている人を増やします		
			歯や口を清潔に保つことや、機能回復に関わる介護者を増やします		
			80歳における20本以上の自分の歯を有する人の割合 70~80歳	22.4%	25%以上
			60歳における24本以上の自分の歯を有する人の割合 50~60歳	48.4%	55%以上
			定期的に歯科検診を受けている人の割合 50~60歳	41.4%	60%以上
			12歳における1人平均むし歯の本数	1.8本	1本以下
下関市			3歳児におけるむし歯のない割合	73.4%	80%以上
			むし歯の罹患率 1歳6ヵ月児	3.2%	減らす 平成12年(度) 保健衛生年報 (下関市)
			むし歯の罹患率 3歳児	33.7%	減らす 平成12年(度) 保健衛生年報 (下関市)
			おやつやジュースを1日3回以上飲食する習慣をもつ幼児の数	29.9%	減らす 口腔衛生学会誌1991 久保田 節子他

虫歯予防と食生活について学ぶ機会を増やす

正しい歯磨き習慣の定着化を図る

定期的な歯科健診の機会を提供する

学ぶ
（6～14歳）

食後の歯磨きをていねいにする

食後には歯磨きをすする

定期的に歯科健診を受ける

う歯は早めに治療する

おやつの内容を親子で考えてつくる

今より10回以上多く噛んで食べる

フッ素を上手に利用する

歯科健診とブラッシング指導の機会を増やす

歯科保健に関する学習の機会を増やす

期く（15～24歳）

毎食後の歯磨きを習慣化する

毎食後の歯磨きを実践する

定期的に歯科健診を受ける

う歯は早めに治療する

バランスのよい食事をとる

歯科保健に関する学習の機会を増やす 妊娠中の歯

科保健の学習機会を増やす

歯磨き習慣の定着化を図る

定期的な歯科健診の場と実施の機会を増やす

輝く（25～44歳）

定期的に歯科健診を受けて、歯周病を防ぐ

毎食後、自分合った歯磨きを実践する

歯間部清掃用具等の使用で丁寧に歯を磨く

定期的に歯科健診を受ける

歯科保健に関する学習の機会を増やす 歯や歯ぐき

の健康に関心を持つよう啓発する

歯科保健に関する学習の機会を増やす 妊娠中の歯

科保健の学習機会を増やす

各自合った歯磨き習慣の定着化を図る

定期的な歯科健診の場と実施の機会を増やす

市町村	大目標	種類	目標(指標)	現状	目標値資料等
	定期的に歯科健診を受けて、歯周病を防ぐ	乳児(4.5~6.4歳)	毎食後の歯磨きを実践する 歯間部清掃用具等の使用で丁寧に歯を磨く よく噛んで食べる 定期的に歯科健診を受ける 歯石除去や歯面清掃をする 歯科保健に関する学習の機会を増やす 歯や歯ぐきの健康に関心を持つように啓発する 歯科保健に関する学習の機会を増やす 特に咀嚼機能を保つように啓発する 歯磨き習慣の定着化を図る 定期的な歯科健診の場と実施の機会を増やす		
	よく噛んで食べられる歯を保つ	総乳児(6.5~7.4歳)	毎食後の歯磨きを実践する 歯間部清掃用具等の使用で丁寧に歯を磨く よく噛んで食べる 定期的に歯科健診を受ける 歯科保健に関する学習の機会を増やす 1本でも多くの歯を残す重要性を啓発する 歯科保健に関する学習の機会を増やす 歯や歯ぐきの健康に関心を持つように啓発する 歯科保健に関する学習の機会を増やす 特に咀嚼機能を保つように啓発する 定期的な歯科健診の場と実施の機会を増やす		
	最後まで自分の歯で食べる	安らく(7.5歳~)	定期的に歯科健診を受ける 齧歯も磨く 歯ぐきを口の一部として大切に 歯科保健に関する学習の機会を増やす 1本でも多くの歯を残そうと呼びかける 歯科保健に関する学習の機会を増やす 齧歯になつても歯科健診の受診を勧める 定期的な歯科健診の場と実施の機会を増やす		
愛媛 松山市			むし歯のない幼児の割合 1歳6か月児 むし歯のない幼児の割合 3歳児 50歳で歯周炎の人の割合 定期的に歯科検診を受ける人の割合	97.3% 63.2% 調査中 30.0%	現状維持 70.0%以上 減らす 増やす
長崎 長崎市		乳幼児期	3歳児におけるむし歯のない子供の増加	59.1%	80%以上 平成13年長崎市民意識調査
鹿児島 鹿児島市	生涯おいしく食べられるように、正しい歯磨きと定期受診に取り組みます	8020	60歳で24歯以上有する人の増加	52.5%	60%以上

市町村	大目標	種類	目標 (指標)	現状	目標値 資料等
		8020	80歳で20歯以上有する人の増加	11.1%	20%以上
		乳幼児期	幼児のフッ化物歯面塗布率の向上	91.7%	94%以上
		学齢期	一人平均むし歯の減少 (中1)	2.79歯	1歯以下
		成人期	進行した歯周病を有する人の減少 (40歳)	41.4%	30%以下
		成人期	進行した歯周病を有する人の減少 (50歳)	52.9%	45%以下
		成人期	1日1回、時間をかけて丁寧に歯を磨く人の増加	49.8%	75%以上
		成人期	1年間に1回は歯科を受診する人の増加	48.3%	50%以上

市町村	大目録	種別	目標(指標)	現状	目標値 資料等
東京	千代田区	歯及び口腔の健康づくりを推進する	高齢者の健康を守るため、高齢者の集まるところに出向いて、歯科相談や健康教育を実施する 歯科健診を行い、歯周疾患の予防を図る 30歳以上の区民を対象に、歯科医師会との連携により、う蝕及び歯周疾患等の疑いのある人を早期に発見し、早期治療の促進を図る 身近な地域で、必要な歯科保健医療サービスの提供が受けられる「かかりつけ歯科医」の定着を図る		
東京	中央区	かかりやすい医療体制を推進する			
		一生自分の歯で食べる			
		歯と口腔の健康の基礎づくり	幼児期・学齢期		
			むし歯のある者が増加に転じないようむし歯予防対策の充実 歯並びやかみ合わせ、食べ方などの育児不安への対応 学齢期における、歯と口の健康づくりを通じた「健康とはなにか」「どうすれば健康増進できるか」など自ら考え、実践できる能力の育成 う蝕のない幼児の増加 3歳 フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の増加 3歳 一人平均う蝕数(むし歯経験歯数)の減少 12歳 1.28歯 フッ化物配合歯磨き剤の使用の増加 5歳児の割合 健康教育・健診・保健指導等の充実 かかりつけ歯科医の普及 福祉・教育との連携	81.7% 上げる 58.1% 上げる 1歯以下 60.0% 90%以上	
		歯と口腔の健康づくり	成人期・高齢期		
			若い時期からの歯周病対策の充実 要介護者への歯科医療機関の確保と口腔ケアの普及啓発 進行した歯周炎の減少 40歳 進行した歯周炎の減少 50歳 歯間部清掃器具の使用の増加 40歳(35~44歳) 歯間部清掃器具の使用の増加 50歳(45~54歳) 喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及 歯周病 80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の割合 60歳(55~64)で24歯以上 定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の増加 過去1年間に受けた人の割合 60(55~64)歳 定期的な歯科検診の受診者の増加 60(55~64)歳	64.8% 22%以下 66.6% 33%以下 38.9% 50%以上 41.1% 50%以上 20.9% 100% 55.2% 上げる 50.7% 上げる 45.3% 上げる	

市町村	大目標	種類	目標(指標)	現状	目標値 資料等
東京 港区	80歳で20本、60歳で25本の自分の歯を保ちましょう!!! 望ましい歯科保健行動		若い年代を対象にした事業の充実 かかりつけ歯科医の普及 要介護者への歯科医療機関の確保と口腔ケアの普及 健康づくり情報の提供		
			歯をみがく時に口の中の観察を十分に 食後十分時間をかけて歯みがきをする デンタル・フロスや歯間ブラシを利用する 規則正しく食事を 歯周疾患予防のためにたばこを吸わない かかりつけの歯科医で定期健診や歯石除去などの専門的な口腔ケアを受ける		
	生涯を通じて歯のために望ましい行動ができる人を増やす		口腔状態に満足している人の割合を増やす 男性 口腔状態に満足している人の割合を増やす 女性 CPI(地域歯周病指数)最大コード3以上の割合 40歳 CPI(地域歯周病指数)最大コード3以上の割合 50歳	51.8% 70%以上 55.5% 75%以上 44.6% 30%以下 65.4% 45%以下	H14年度区歯周疾患検診結果 H14年度区歯周疾患検診結果
	気軽に歯の相談ができる体制づくりを推進する		かかりつけ歯科医を決めている人の割合 男性 かかりつけ歯科医を決めている人の割合 女性	57.3% 70%以上 68.2% 70%以上	

市町村	大目録	種類	目標(指標)	現状	目標値	資料等
東京	新宿区	8020	成人期・高齢期における歯周疾患 予防と適切な歯科保健行動の定着			
			2 4本以上の歯を持つ者の増加 6 0歳	76.8%	80%以上	H 1 3 歯周疾患検診
			進行した歯周病にかかっている者の減少 4 0歳	29.3%	20%以下	H 1 3 歯周疾患検診
			進行した歯周病にかかっている者の減少 5 0歳	40.0%	30%以下	H 1 3 歯周疾患検診
			進行した歯周病にかかっている者の減少 6 0歳	47.1%	40%以下	H 1 3 歯周疾患検診
			週に1回以上、フロスや歯間ブラシを使用している者の増加 2 0～3 9歳	42.3%	80%以上	H 1 3 歯周疾患検診
			週に1回以上、フロスや歯間ブラシを使用している者の増加 4 0～6 4歳	37.9%	60%以上	H 1 3 高齢者実態調査
			週に1回以上、丁寧に時間をかけて歯を磨く者の増加 2 0～3 9歳	41.3%	45%以上	H 1 3 歯周疾患検診
			週に1回以上、丁寧に時間をかけて歯を磨く者の増加 4 0～6 4歳	45.5%	50%以上	H 1 3 高齢者実態調査
			自分の歯の本数を知っている者の増加 4 0歳以上	37.6%	40%以上	H 1 3 高齢者実態調査
			フッ化物配合歯磨剤を使用している者の増加 2 0～3 9歳	24.9%	90%以上	H 1 3 歯周疾患検診
			フッ化物配合歯磨剤を使用している者の増加 4 0～6 4歳	30.9%	80%以上	H 1 3 高齢者実態調査
			かかりつけ歯科医を持つ者の増加 2 0～3 9歳	59.0%	増加させる	H 1 3 歯周疾患検診
			かかりつけ歯科医を持つ者の増加 4 0～6 9歳	60.1%	増加させる	H 1 3 高齢者実態調査
			乳歯のむし歯にかかったことがない子どもの増加 3歳	77.2%	90%以上	H 1 3 幼児歯科健診
			乳歯のむし歯にかかったことがない子どもの増加 5歳	57.1%	70%以上	H 1 3 保育園等歯科健診
			永久歯のむし歯にかかったことがない子どもの増加 小学校4年生	66.0%	75%以上	H 1 3 学校歯科健診
			永久歯のむし歯にかかったことがない子どもの増加 中学校1年生	41.5%	50%以上	H 1 3 学校歯科健診
			甘味食品や甘味飲料をほぼ毎日飲食する子どもの減少 3歳	39.2%	減少させる	H 1 3 母子アンケート調査
			甘味食品や甘味飲料をほぼ毎日飲食する子どもの減少 5歳	52.8%	減少させる	H 1 3 保育園等アンケート調査
			甘味食品や甘味飲料をほぼ毎日飲食する子どもの減少 小学生(4及び6年)	21.1%	減少させる	H 1 3 学校アンケート調査
			フッ化物配合歯磨剤を使用している子どもの増加 3歳	36.6%	50%以上	H 1 3 母子アンケート調査
			フッ化物配合歯磨剤を使用している子どもの増加 5歳	55.5%	65%以上	H 1 3 保育園等アンケート調査
			フッ化物配合歯磨剤を使用している子どもの増加 小学生(4・6年)	25.3%	85%以上	H 1 3 学校アンケート調査
			フッ化物配合歯磨剤を使用している子どもの増加 小学生 3年	25.7%	85%以上	H 1 3 学校アンケート調査

乳幼児・学齢期におけるむし歯予
防と適切な歯科保健行動の定着